

選考試験 専門記述式問題（学芸員（日本美術史）／博物館学）

問題 1

博物館法（昭和26年法律第285号）第4条について、次の問いに答えなさい。

第4条 博物館に、（ ① ）を置く。

2 （略）

3 博物館に、（ ② ）として学芸員を置く。

4 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

5 博物館に、（ ① ）及び学芸員のほか、（ ③ ）その他の職員を置くことができる。

6 （ ③ ）は、学芸員の職務を助ける。

（1）上記空欄①～③に当てはまる語句を答えなさい。ただし、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

（2）下線部「博物館資料の収集、保管、展示」に関連して、博物館法第3条第1項第1号に規定されている博物館資料のうち、博物館の設置及び運営上の望ましい基準（平成23年12月20日文科科学省告示第165号）第5条で示される「実物等資料」を2つ（「実物」を除く。）、「複製等資料」を1つ答えなさい。

問題 2

（1）博物館法第11条では、博物館の登録について規定されているが、香川県高松市に所在する博物館の登録事務を行うのは、次のうちどれか。ア～カから選んで記号で答えなさい。

ア 文部科学大臣

イ 文化庁長官

ウ 香川県知事

エ 香川県教育委員会

オ 高松市長

カ 高松市教育委員会

（2）同法第13条第1項第6号では、博物館の登録のための審査項目として、施設の開館日数について規定されている。一年を通じて何日以上開館することとされているか、答えなさい。

問題 3

(1) 博物館法第 23 条では、公立博物館の運営に関して、「公立博物館に、(A) を置くことができる。」と規定している。空欄 A に当てはまる語句を答えなさい。

(2) (1) の空欄 A が館長に対して行う役割として正しいものは次のうちどれか。

ア～エから選んで記号で答えなさい。

ア 意見を述べる イ 指導を行う ウ 評価を行う エ 任命を行う

問題 4

次の文を読んで、次の問いに答えなさい。

近年、学校教育において、博物館と連携し積極的に活用を図る動きが見られる。中学校の美術の教育内容を示した「中学校 (A)」の第 2 章 各教科のうちの第 6 節 美術においては、「美術館・博物館等と連携を図ったり、それらの施設や文化財などを積極的に活用したりするようにすること」が、内容の指導上、配慮すべき事項の一つとして掲げられている。

(1) 上記空欄 A に当てはまる語句を答えなさい。

(2) 中学校の教員から、あなたが勤務する博物館に、教科学習の一環として、博物館を利用したいとの相談があったとする。効果的な学習の機会とするために、どのような点に留意して、その相談に対応するのが適切か。具体的な留意点を 3 点挙げ、その意図とともに説明しなさい。

問題 5

あなたは、勤務する博物館で開催する夏の展覧会で、籐製の漁具と漁師を描いた絵画作品（掛け軸、指定文化財、他館からの借用）を紹介することになった。これに併せて、漁具の実物資料も展示することで、来館者の理解を深めたいと考えている。

展示する漁具は、資料の保存状態が良いことから、伝世品で地域の個人が所蔵のものを借用することにした。なお、この漁具は、通常個人宅の納屋でほかの漁具や家財などとともに保管されているものである。

これらの作品・資料の展示を行う際に、資料保存の観点から最も留意すべきことは何か。そして、そのためにどのような事前準備を行い、どのような展示プランを立案するか、具体的に述べなさい。